

-Dazed and Hypnotized- 酩酊と幻惑ロック

【編集・著】 杉本憲史

【監修・著】 加藤隆雅

ドゥームメタル・ストーンロック・スラッジコア・ディスクガイド

1965-2022

ヘヴィメタル/ハードロックのなかでもコアなファンが多い「ドゥームメタル/ストーンロック/スラッジコア」について、60~70年代からルーツを辿り、ドゥームメタルが台頭した80年代、ストーンロック/スラッジコアが台頭した90年代、ジャンルの拡散と「レトロ/ヴィンテージ回帰」による音楽性の収束の双方が進んだ2000年代以降の作品群を、「酩酊と幻惑」をテーマに年代別で**1204**点紹介!!!

1970年代

Black Sabbath / Black Sabbath (1970) Vertigo



「酩酊」や「幻惑」という言葉から連想される、サイケやシンフォ系のサウンドとは一線を画した、邪悪なリフで深く沈みこむ無骨なサウンド。The Beatlesの「Sgt. Pepper's Lonely Hearts Club Band」とは明らかに異なる世界だ。当時において、オルタナティブ中のオルタナティブ。うねりの要素も強いが、腰よりも頭を振りたくくなるようなアタックの強さ。この音をThe Doors、Pink Floydと並べて精神的支柱とすることにより、本稿で改めて「Dazed & Hypnotized」というコンセプトを再定義する。本書に登場するヘヴィロック作品の多くは、本作と血を分かちあふえの縁故採用のようなものである。(杉本) 97

Black Sabbath / Paranoid (1970) Vertigo



名盤と名高いこの2ndは、ドゥーミーで狂戦士な「War Pigs」で幕を開け、疾走感ある「Paranoid」に雪崩れ込む。この流れは、Troubleの1stやKyussの2ndのお手本になっているような気がするが、どうだろうか。ヘヴィナンバーの代名詞たる「Iron Man」や「Electric Funeral」にインスパイアされた楽曲は枚挙に暇がない。一方で、「Fairies Wear Boots」のような名曲も。3連のリフは弦楽器をかじれば誰にでも書けるが、印象的なリードプレイをも配して楽曲をドラマティックに飾ることは、方法論だけではなしえぬ名人芸なのだ。(杉本) 98

Black Widow / Sacrifice (1970) CBS



音、ハードコアパンクからBlack Sabbathを経て70'sヘヴィロックを掘っていた友人に本作を聴かせたところ、「コケオジで物足りない」と一蹴された。当時は「わかってねえな」と思ったものだが、メタルがルーツの筆者と彼の感性の違いを象徴していたようで興味深い。実際、代表曲「Come To The Sabbat」や「Sacrifice」も音圧には乏しく、おどろおどろしいというよりは魔女が盆踊りしているような脳天気さ。Pesky Geelからの流れを汲むジャズロックなので芳醇な英国臭を胸いっぱい吸い込むことができるが、「俺が求めてるのはそういうのじゃない」という彼の感覚も今ならわかる。(杉本) 99

Bloodrock / Bloodrock 2 (1970) Capitol



ツインGt.とKey.を擁する、アメリカ・テキサス州のハードロックバンドによる2nd。前作でDr.を兼務していたJim RutledgeがピンVo.になった。Grand Funk RailroadのマネージャーであるTerry Knightが3rdまでプロデュースしたのは語り草。基本的には泥臭いアメリカン地下ハードの典型ながら、オルガンを全面にフィーチャーした、サイケデリックとも英国風味ともとれる間口の広い作風。Vo.はソウルフルに歌い上げるタイプだし、演奏面では充実したバンドだ。本作にはヘヴィな代表曲「D.O.A.」を収録。商業的にそれなりの存在感を示しながら、75年の解散までに6枚のアルバムを残した。(杉本) 100

038 Dazed and Hypnotized

**A5 並製
336頁**

「加藤隆雅 カトウタカササキ」1988年生。ドゥームレーベル「梵天レコード」の元主宰者で、現在はVintage Vault名義でディストロ運営。編集者の杉本とウエブメディア「Tranquilized Magazine」を共同運営。
 【杉本憲史 スギモトノリヒト】1986年生。Nighthings、Witchlaughterのイベント活動。編著『Vintage and Evil』。監修者の加藤と「Tranquilized Magazine」を共同運営。出版業界紙「新文化」(新文化通信社)の記者。

本書詳細インフォメーション随時更新中!▶

ご注文&お問い合わせは → **東京キララ社 TEL & FAX 03-6261-5959**
 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-7 芳賀書店ビル5階 (2020年10月に移転しました。電話FAXメールは変更ありません) mail: order@tokyokirara.com

番線印	と担当	事前指定	発行・発売：東京キララ社	<h2 style="margin: 0;">酩酊と幻惑ロック</h2> <p style="margin: 0;">ドゥームメタル・ストーンロック・スラッジコア ディスクガイド 1965-2022</p> <p style="margin: 0;">【編集・著】 杉本憲史 【監修・著】 加藤隆雅</p> <p style="margin: 0;">A5 並製336頁</p> <p style="margin: 0;">ISBN:978-4-903883-69-4 C0073 定価：本体 3,000円(税別)</p>
	月	冊	取次搬入日 11月29日 事前注文締切 11月13日	
	日			